

目立たぬものを着て、汚れを苦にせず、洗濯物は乾くまで軒先に干し放し、という極めて消極的な暮し方をしている。衣類・寝具も湿り勝ちで保温効果も低く見られるが新材料への要求も低く、停滞状況を示す。積雪寒冷条件は、直接には勿論洗濯に影響を与えているが、それが農業経営に働いての生活の低さも又間接的に大きく衣生活全般に影響を及ぼしていることは見逃がし得ない。

## 50. 積雪寒冷地農家の衣生活

### 山形県大石田町海谷地における冬の洗濯

福島大学芸 高橋キヨ子

本報告は35年度文部省総合科学研究費の交付を受けて行った「積雪寒冷地農村における家庭生活の特質と生活改善に関する研究」のうち表生活部門の一部である。

1. 前1・2報において行った福島県南会津郡南郷村と大沼郡会津高田町における調査結果から、更に積寒条件の他地区における調査を行い、総括的に該条件下の農家の洗濯の実態を把握し、之に対応するための方途を見出そうとする。

2. 積雪寒冷なる水田単作地として、山形県大石田町海谷地区を選定、家族・経営規模を指票として46戸を抽出、比較として福島県安積郡湖南村福良余郷新田地区の全戸28戸を取り、夏・冬に戸別聞取りを行い、更に海谷で6戸、余郷で4戸については夏・冬各1ヵ月間の記録を依頼し、その結果を整理考察した。

3. 海谷地区は積雪は南郷、高田に劣らぬ深さで都会地との交流も少くなるため、之より積雪の少ない、都会地との交流の多い余郷に比べて生活は一段と低い、汚れの